

地域が生き残るために 公共交通は不可欠

目指すのは
?

高校生が学校へ通える

家族の送迎がなくても… 下宿や引っ越しをしなくても…

通勤に使える

車とバランスよく組み合わせて

高齢者が通院・買い物に出掛けられる

免許を返納しても大丈夫



どうすれば
?

幹 枝 葉 の総合交通体系整備



便利な公共交通があったら… 住む人すべてに大きなメリット

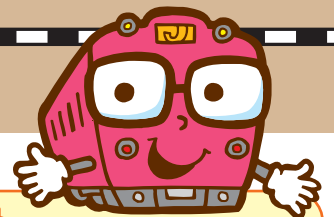
人が住み続けることで
地域の未来を守る

子育て世代も
送迎を気にせず

高齢者もお出掛けて
健康寿命延伸

人の移動活発化で、
お店も繁盛

観光客、移住者にも
選ばれる地域に



理想の地域交通体系を、みんなで実現しましょう



ジョーたん

みんなで 考えたいこと

- 公共交通は、道路と同じ。民間任せではなく、公的資金投入の仕組みを
- 車だけに頼らない生活を。たまには公共交通で
- 交通づくりは地域づくり。それはまさに住民自治
- JR城端線・氷見線は利便性を最優先に、新型車両導入やパターンダイヤ化、乗り継ぎ改善を

注目されるクロスセクター効果



※「地域公共交通 赤字=廃止でいいの？」(近畿運輸局、2018年)の図を基に作成

公共交通には、観光、福祉などさまざまな分野に波及する大きな経済効果(クロスセクター効果)があります。高齢者の外出で健康寿命が伸びたり、人が住み続けることで税収が確保できたり…。渋滞が減れば、道路整備費も抑えられます。

存廃が論議されていた滋賀県の近江鉄道について行われた調査では、廃線にすると逆に財政負担が大きくなるのが分かり、存続が決まりました。

【 高齢者のお出掛けで医療費削減 】

富山市は65歳以上の高齢者に年1,000円の負担金で、市内各地と中心市街地の間であれば、あいの風とやま鉄道、JR高山線を除く公共交通機関に、1回100円で乗れる「おでかけ定期券」を配布しています。定期券を持つ人と持たない人について、2016、18年に1日の平均歩数と医療費を調査し比較したところ、定期券を持つ人は年齢が2歳上がっても歩数の減少が少なかったことなどから、同市は「おでかけ定期券」で医療費が大幅に削減できたとしています。

詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

地域の総合交通体系構築の考え方

「城端・氷見線LRT化検討に合わせた公共交通活性化への提言」

(呉西地区公共交通再生研究会、2022年)



クロスセクター効果とは

「地域公共交通 赤字=廃止でいいの？」

(近畿運輸局、2018年)



地域交通に関する公開講座・ワークショップの録画・資料など

呉西地区交通まちづくり市民会議HP



近江鉄道のクロスセクター効果分析調査

「近江鉄道沿線地域公共交通網形成計画策定基礎調査業務 クロスセクター効果分析調査報告書」

(近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会(一社)システム科学研究所、2020年)



富山市の「おでかけ定期券」による高齢者医療費削減効果

定例市長記者会見 記者発表資料

(2019年5月31日)



「おでかけ定期券」を紹介した富山市広報 2023年3月5日号

